



かわら版

2024年2月1日
発行：中部協同病院
機関紙委員会

患者さんを支える 送迎の運転手

私は、総務課長の我那覇

且敏(前列右)と申します。

総務課は、経理・庶務・用
度・設備・清掃・警備・運
転手・システム関係と非常
に幅広く、管理運営を行っ
ています。

その中で今回は、一般職
員と利用者に関りが少ない
総務課所属の運転手5名の
自己紹介と業務内容につい
て、紹介したいと思います。

●玉城博通(前列左)リーダー
とし、みんなをまとめスケ
ジュール調整等をおこなっ
ています。

ています。

●城間良則(後列中央)様々
な取り組みに積極的に取り
組み、対応しています。

●島袋徹(後列左)とてもま
じめで、常に周りをみてい
て運転業務だけでなく、ト
リアーン等に積極的に手伝っ
ています。

●饒平名保(後列右)常に笑
顔で丁寧な口調で、利用者
に接しています。

●与那修(右下枠内)職員へ
アドバイスや利用者にと
に接し、運転業務だけ

でなく、各種統計資料等
を作成しています。

運転手の業務内容とし
ては、主に午前と午後

に透析利用者の送迎を行っ
ています。また、巡回バ
スで一般利用者の送迎を
行っています。その他、

車両のメンテナンスや駐
車場係、草刈り等の業務
も行っていきます。

特に台風時期には何度
も、正面玄関のテント設
営、撤収を行っています。
とても、親切な方々なの
で、気軽にお声掛けくだ
さい。

総務課長 我那覇且敏



患者送迎担当スタッフ

能登半島地震に伴う義援金 よろしくお願いたします

元旦に、石川県能登半島地
方で発生した地震により、石
川県志賀町では震度7を観測
しました。

この地震と津波では多くの
家屋が倒壊し、道路の地割れ
陥没で深刻な被害が出ていま
す。また、海岸線では4mを
こえる隆起が発生し、漁業に
大きな影響を与えています。

今も石川県では、電気・水
道・通信が途絶えており、救
助作業が難航し1万5000
名を超える人が避難生活を余
儀なくされています。

職員と来院の皆様

沖縄医療生協は、全日本民
医連の「能登半島地震に伴う
義援募金」の呼びかけに

募金の取組みを行います。

中部協同病院では、災害復
旧と被災者救済のため「能登
半島地震救援募金箱を一階フ
ロアーに数か所設置しますの
で、ご協力をお願いします。

沖縄民医連



書初めで新年スタート♪

病棟で書初めをしました。

お手本を見たり、正月っほ
い字を連想して書きたくな
りますが、自分の好きな文
字や書きたい文字を頭の中
で思い浮かべたりすることよ
り書道を楽しめます。

なぜその文字を書きたかっ
たのか尋ねると、その人ら
しさが感じられ、皆で笑っ
たり、ほっこりした気持ち
になりました。脳の活性化
にも良いみたいです。

リハビリ室 作業療法士
和宇慶 美和子



頑張っています！朝の街宣 安心して暮らせる医療・介護の実現を

中部協同病院では、毎週金曜日の朝8時から（15分程度）県道75号線病院入り口交差点において、当院、にじ薬局の職員で4グループに分かれ街宣行動活動を行なっています。

私たち歯科は第3金曜が担当日になっています。

活動内容は、「医療従事者・介護職を増やして」「安心できる医療・介護福祉に」「いのちを守る政治に変えよう」「平和と誇りある経済発展を私たちの声で」「ミサイルよりのちのち！くらし！」「選ぼういのちを守る政治」と書か



れたパネルを掲げ、ハンドマイクで社会情勢などを報告しています。

朝の通勤通学の忙しい時間帯、私たちの小さな運動が1人でも多くの県民の心に届きますようにと、願いを込め今後も活動を続けて参りたいと思います。

中部協同病院 歯科

リハビリの重要性を再認識



医師 佐久川明美

今年1月から勤務しています。医師の佐久川明美といいます。専門はリハビリテーション科です。リハビリテーション医療は「何でも屋」みたいなもので、整形疾患も神経疾患も、不自由だと

足の相談会の役割は大きいですね

足の相談会を受けての感想

【体験者からのアンケート】

- 自分が思っていたサイズより小さくて驚いた
- ずっと広い靴を履いていたため間違った履き方をしていることに気づいた
- 学生や父母へも靴選びや履き方について教えてもらいたい
- 多くの地域の方、年齢層に広めて欲しく、必要な知識だと感じた



理学療法士 大湾翔太
作業療法士 大城貢

【担当リハビリ士の感想】
●足のサイズや靴選びの方法、靴の履き方を通して個人に合った、様々な足の悩みがあることが分かった。今後も継続して行いたい。

訴えがあれば診療します。

不自由さの原因を診断しながら、機能回復の方法を実施し、回復できない障がいが残ったら装具や福祉機器を活用し、能力を高めて自分で出来る事を増やしていきます。

自分で出来ない事は制度を活用して「最後まで自分らしく生きる」事を支援する医療です。薬や外科的な処置もおこ

ないですが、理学療法や作業療法、聴覚言語療法など、療法士による治療が大きな特徴です。

以前は運動機能回復や日常生活動作獲得、コミュニケーション向上が中心でしたが、最近は認知機能療法や摂食嚥下療法など高齢化社会へ対応した取り組みも増加しています。

皆さんが、在宅や地域で生活継続するためリハビリテーションスタッフと取り組んでいきますので宜しくお願い致します。

※当日は普段履いてる靴をお持ちください

【日時】2024年2月16日（金） 11:00~12:00

【場所】中部協同病院 正面玄関

【参加費】無料

【所要時間】1人15~30分（定員4名）

【お問い合わせ】

中部協同病院 リハビリ室 大湾 翔太

※当日参加可能ですがご予約の方優先とさせていただきます

次回相談会のご案内